

安全上のご注意

1. このページに記載される安全上のご注意をよくお読みください。
2. ユーザーズマニュアルは今後のために大切に保管してください。
3. 掃除をする前に、この装置をAC電源から取り外してください。
掃除をする際は、液体やスプレー洗剤をご使用にならないでください。
湿った布などで掃除してください。
4. 装置はコンセントの近くに起き、コンセントに届きやすいよう設置してください。
5. 装置は湿気のある場所に置かないでください。
6. 装置を安定した場所に置いてください。装置を不安定な場所に置くと、落ちたり、破損の原因になることがあります。
7. 装置についている穴は通気孔です。装置の加熱を防ぐためのものです。これらの穴は絶対にふさがないでください。
8. 電源に接続するときは、電圧をお確かめの上、接続してください。
9. 電源コードは通行などの邪魔にならないよう配置してください。電源コードの上には何も置かないでください。
10. 装置に関するすべての注意事項および警告事項をよく守ってください。
11. 装置を長期間ご使用にならない場合は、変圧器の破損を防ぐため、コンセントから外しておいてください。
12. 火災や感電の恐れがありますので、穴などに液体を注ぎ込まないでください。
13. 装置の解体は絶対におやめください。安全上の配慮から、装置の解体は専門技師にのみ許可されています。
14. 次のような状況が発生した場合は、すぐに専門技師にお問い合わせください:
 - (a) 電気コードやプラグが破損した場合。
 - (b) 装置に液体がこぼれた場合。
 - (c) 装置が湿気のある場所に置かれた場合。
 - (d) 装置がうまく作動しない場合や、ユーザーズマニュアル通りに操作しない場合。
 - (e) 装置を落としたり、破損した場合。
 - (f) 装置に明らかな破損の傾向がある場合。
15. この装置は、エアコンのない密封環境に放置しないでください。60°C (140°F)以上の場所に保管すると、装置を破損する恐れがあります。また、IEC704-1:1982に基づく装置の音量圧力レベルは、70dB(A)(を含む)以下です。
16. 危険: この装置を開くと、目に見えない放射能が発生しますので、直接触れないでください。

FDA放射線標準、21 CFR第J項を満たしています。

レーザーパワー:ウェーブ長さ:783±3nm

放出能力: :0.7mW

レーザーダイオード:class 3b

ご注意

!! ドライブを自ら解体しないでください。カバーを取り外すと、危険性のあるレーザー光線や電圧に触れる恐れがあります。欠陥のあるドライブは、お買い上げ店に返品し、専門技師に修理を依頼することを強くお勧めします。

- ドライブの郵送や返品には、本来の梱包をお使いください。この商品の梱包は、ドライブが運送条件に耐えるよう設計され、テストされています。
- CD-RWドライブを直射日光のあたる場所や、過熱の恐れのある場所、電気製品の付近に放置しないでください。
- 柔らかい、きれいな布でドライブを掃除してください。ドライブが湿気や液体(水、洗剤などを含む)に触れないようご注意ください。
- CD-R/RWディスクは清潔に保ちましょう。録音/録画前に柔らかい、きれいな布でCD-R/RWディスクの表面をふき取ることをお勧めします。
- ドライブを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- CD-RWドライブの周囲は、ほこり、煙などがいないよう、清潔な環境を保ってください。
- 各国の著作権法が各著作の再製などを管理しています。CD-RWをご利用になる際は、無許可で著作を再製することが違法となることもありますのでご注意ください。
- HDDからデータをコピーする方が、"オン・ザ・フライコピーモード"でコピーを実行するよりも成功率が高くなっています。よって、HDDに十分なバッファスペース(最低800MB)を残しておくことをお勧めします。

目次

はじめに

ドライブとは	4
フォーマットの互換性と記録モード	4
ドライブでできること	5

システム構成

システム環境	6
--------------	---

機能と調整

前部	7
後部	8

インストール

USB 2.0ユーザー

Windows 98SEのUSBドライバインストールについて	9
--------------------------------------	---

接続	10
----------	----

ドライブのインストール	11
-------------------	----

オペレーション

デバイス・ドライバのインストール	12
------------------------	----

トレイのロードとアンロード	12
---------------------	----

CDへの書き込み

ソフトウェア&マニュアルの記録	13
ディスク	13

CDの再生

オーディオCDの演奏	14
------------------	----

トラブルシューティング

読み込みの問題	15
書き込みの問題	18

はじめに

信頼性の高い高パフォーマンスなCDライター、CDレコーダー、CDリーダーである、本ドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本マニュアルを注意深くお読みになり、いつでも取り出せるよう保管してください。インストール、操作、トラブルシューティングに関し、本マニュアルをご参照ください。

ドライブとは

ドライブとは CD-再書き込み可能なドライブで、書き込み、再書き込み、読み込みのプロ級のCDパフォーマンスを提供します。本多用途ドライブの主な特長は:

- CD-R (記録可能CD) メディアへの書き込み
- 高速 CD-RW (再書き込み可能CD) メディアへの書き込み
- 全てのCD-ROMとCD-Rメディアの読み込み

(注: 本ドライブの書き込み、再書き込み、読み込みの最大速度は外箱に記載されています。)

ドライブはRunning OPC (ROPC)をサポートし、Windows Plug & Playとも互換性があります。フラッシュメモリを使えばドライブを最新のファームウェアリビジョン (ウェブサイトより入手可能) ヘッドドライブを開くこともなくアップグレードできます。バッファアンダーランブルーフテクノロジーがバッファアンダーランエラーを解消しますので、CD-RやCD-RWディスクへの書き込みの最中でも、安心して他の用途のためにコンピューターをお使いいただけます。

フォーマットの互換性

本ドライブは、多用途光ディスクドライブです。書き込み機能では、オレンジブック Part2/ part3/ volume2: high speedに準拠したデータを、書き込みアプリケーションソフトウェアを使ってCD-R/RWディスクに書き込むことができます。全てのCDフォーマットメディアもサポートします: CD-DA, CD-ROM, CD-ROM/XA, Photo-CD, マルチセッション, Karaoke-CD, Video CD, CD-I FMV, CD Extra, CD Plus, CD-R, CD-RW

レコーディングモード

トラックアットワンス

一度に一トラックのデータをディスクに記録することができます。新しいトラックは後に追加できます。音楽CDは、ディスクが完了するまで、CDプレーヤーやCD-ROMでは再生できません。

ディスクアットワンス

一度にデータをディスクに記録することができます。このモードでは、新しいトラックを後に追加することはできません。

セッションアットワン

一度にワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップがないため、更に多くのディスクスペースを使用することができます。

マルチセッション

ワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップが生じるため、使用できるディスクスペースは減少します。

パケットライティング

データのバックアップに効果があります。データは、直接CD - R/RWメディア上のトラックに加えられるか、直接CD - RWメディア上みトラックのみから削除されます。このモードを使用する場合、パケットライティング機能をサポートしたソフトが必要となります。

ドライブでできること

- 追記型、書換可能CD メディア上におけるデータ書き込み及びオーディオ記録。
- 音楽CDの演奏。
- VCD 映画の上演。
- 写真および他のイメージを追記型、書換可能CDにセーブします。
- イメージおよび動画をCDに記録します。
- CD上で新しいソフトウェア・プログラムをマスターします。

システム構成

USB 1.1のための動作環境

本ドライブは高速ユニバーサルシリアルバス(USB) 2.0インターフェースを搭載しています。USBバージョン1.1でもお使いいただけます。安定した読み込み/書き込み/再書き込みパフォーマンスのためには、以下の動作環境でのIBM互換PCシステムが推奨されます

CPU	USB 1.1コントローラ内臓Pentium III 500 MHzまたはそれ以上 (一部のUSBコントローラ、あるいはマザーボードはUSBドライブ全タイプをサポートしていない場合があります)
OS	Microsoft Windows 98SE/ME/2000/XP
メモリ	お使いのOSごとに必要とされている推奨RAMを必ず満たさなければなりません (256MB以上推奨)
CD-ROMドライブ	ソフトウェアインストール用
ハードドライブ	CDイメージファイルの作成には650MB以上の空き容量 (操作中はHDDサーマルリキャリブレーションをオフにして下さい)
インターフェース	USBインターフェースコネクタ

注意:

- (1) USB 1.1を使用してのドライブの最高パフォーマンスはCD-R4倍速、CD-RW4倍速、CD-ROM読み込み6倍速となります。
- (2) 一部の高速ハードドライブには "自動サーマルリキャリブレーション"が備えられています。書き込みエラー (バッファアンダーラン) を避けるため、BIOS設定でこれをオフにしてください。

USB 2.0のための追加動作環境

インターフェース	最高スピードには高速USB 2.0インターフェースが必要
----------	------------------------------

注意:

- (1) 高速USB 2.0アダプタカードは別売りです。
- (2) 記録/書き込み最高スピードを利用するには、はじめにデータをコンピューターのハードドライブにコピーするよう要求される場合があります。

機能と調整

正面図

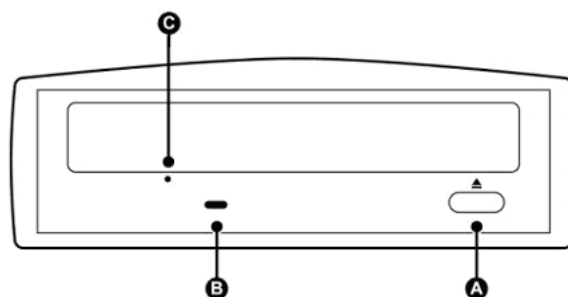


図: ドライブの前部

A	イジェクト/クローズボタン	トレイを引き出す/閉じるための押しボタン。
B	ビジー/書き込みLED	ドライブの作業状態を示します。点灯はビジー状態を示し、点滅している場合は書き込み/再書き込みの状態を示します。
C	エマージェンシイジェクトホール	<p>イジェクト・ボタンが機能しない場合、このホールに小さな棒やクリップの先を差し込んでください。トレイを引き出すことができます。</p> <p>注意:この手動でのトレイ引き出を実行する前に、電源をオフにしてください。</p>

背面図

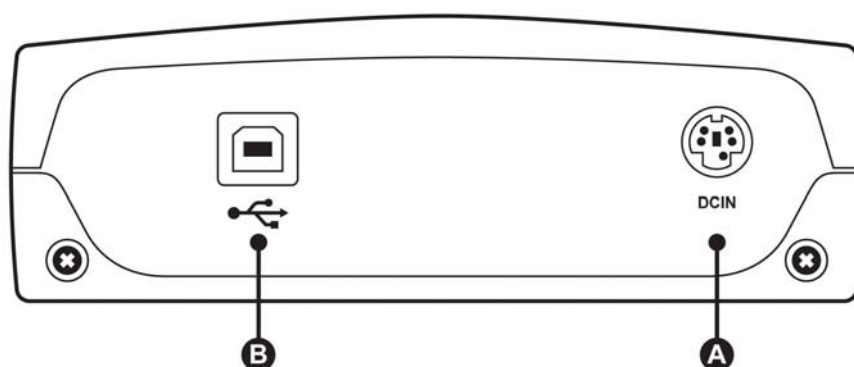


図: ドライブの後部

A	電源コネクタ	5ピンコネクタ (DC電源入力用)
B	USBコネクタ	標準USB Bタイプジャック

USB 2.0ユーザー

USB 2.0は最新のテクノロジーです。ゆえに、大部分のコンピュータはもともとUSB 2.0をサポートしていません。外付けドライブをUSB 2.0のスピードで使用するには、USB 2.0アダプタカードをインストールしなければなりません。USB 2.0カードをインストールしていない場合、本ドライブは標準USB 1.1への接続でも使用できますが、スピードはUSB 1.1のスピードに制限されます。USB 2.0アダプタカードインストール後は、オペレーションシステムに従い、以下の手順でUSB 2.0カードが正しくインストールされているか確認して下さい。

Windows® 98SE/MEユーザー:

マイコンピュータを右クリックし、プロパティを選択します。
デバイスマネージャタブを選択します。
ユニバーサルシリアルバスコントローラーの隣に黄色のエクスクラメーションマークがある場合は、カードの製造元にご相談ください。

Windows® 2000/XPユーザー:

マイコンピュータを右クリックし、プロパティを選択します。
ハードウェアタブを選択します。
デバイスマネージャボタンをクリックします。
ユニバーサルシリアルバスコントローラーの隣に黄色のエクスクラメーションマークがある場合は、カードの製造元にご相談ください。

Windows 98SEのUSBドライバインストールについて:

本USBドライブはPlug&Play USB記憶デバイスです。Windows ME、Windows 2000、Windows XPのようなオペレーティングシステムをお使いの場合は、コンピューターに正しく接続するだけで、ドライブはすぐにお使いいただける状態となります。

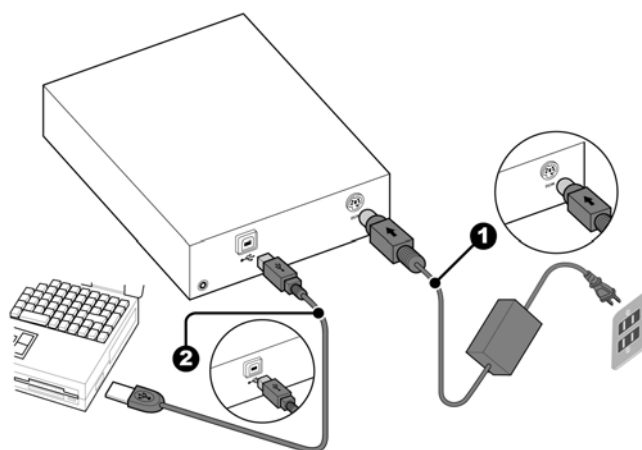
それに対して、Windows 98SE OSのPCは、最初に本ドライブをインストールした際、本USB ドライブを認識しませんので、コンピューターにドライバをインストールする必要があります。

Windows 98SE OS用USBドライバはフロッピーディスク、または、バーニングソフトウェアキットのWindows 98 OSディレクトリに含まれています。OSの指示に従ってドライバをインストールし、コンピューターを再起動して下さい。

使用上の注意:

比較的遅いスピードのUSB1.1インターフェースを備えている場合、またはPCMCIAポートがカードバスインターフェースをサポートしていない場合、記録するスピードを4倍速または8倍速に制限してください。高速に適していないインターフェースで高速書き込みを行うと、バッファのオーバーローが頻繁に発生し、書き込みが中断され(ビジーLEDの点滅時)、書き込みの質にも影響を与えます。

接続



1. 電源ケーブルを接続します。
2. 高速USB 2.0ケーブルを接続します。

ドライブのインストール

1. コンピュータを起動してください。オペレーションシステムが立ち上がるのを待ち、CDキットを挿入してください。画面の指示に従い、書き込み用ソフトウェアをインストールしてください。
 - (CDキットにはCD-RWドライブの使用に必要なシステムソフトウェアが含まれています。)
2. ドライブに電源を入れます。
(電源プラグへの損傷を防ぐため、プラグが曲がらないよう注意して接続してください。)
3. 同梱の高速USBケーブルBタイププラグをドライブに接続します。
(接続をよく見て正しい位置を確認して下さい。)
4. 高速USBケーブルのAタイププラグをコンピューターのUSB 2.0アダプタカード接続に接続します。これでドライブの準備ができました。
(注意: USB 2.0接続が認識されない場合、お使いのUSB 2.0の説明書等をご覧下さい。USB 2.0アダプタカードがインストールされていない場合でも、標準USB 1.1接続がご利用いただけます。)
5. 特にWindows 98SEユーザーの方へ
Windows 98SE (Second Edition)オペレーティングシステムで、初めて本USBドライブをインストールする場合、Windows 98SE用のUSBドライバをインストールしなければなりません。画面の指示に従ってUSBドライバを適切にインストールし、コンピューターを再起動してください。(より詳しくはUSB 2.0ユーザーのページをご参照ください。)

オペレーション

デバイス・ドライバのインストール

ドライブはWindows上でインストール、およびセットアップのための“CD-ROMドライブ”の役割を果たします。また、ドライブの全ての機能を利用するために、追加のソフトウェアをインストールを求められる場合があります。

コンピュータで を使用するためには:

- ◆ **CD - ROMとして使用する場合:** Windowsオペレーティングシステム (WindowsXP、WindowsME、Windows2000、Windows98およびWindows95) のほとんどで、一般的なCD - ROMデバイス・ドライバ(ドライブが標準のCD - ROMドライブとして使用可能)として使用できます。他のソフトウェアをインストールする必要はありません。
- ◆ **CD-R/CD-RWとして使用する場合:** CD - R、CD - RWメディアに書き込みを行うには、追加ソフトが必要となります。パッケージに含まれる書き込み用ソフトウェアキットにより、CDのマスタリング、ハードディスクやフィルのバックアップ、オーディオ・キャプチャ、CDコピーなどの機能をご利用になれます。

トレイのロードとアンロード

- (1) ドライブの電源がオンになっている時に、フロントパネル上のエジェクトボタンを押してください。数秒後にトレイが自動的に引き出されます。
- (2) トレイのへこみ部分にディスクをラベルを上にして置きます。ディスクが平らなるよう気をつけてください。

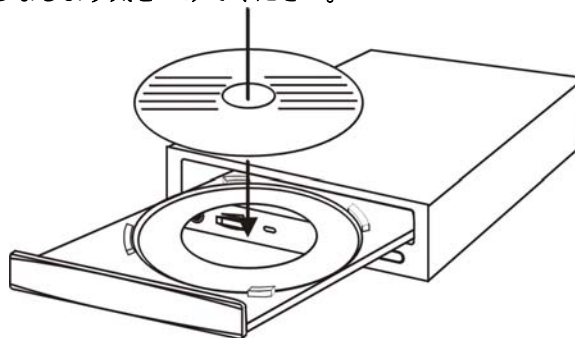


図: トレイをロードします

- (3) エジェクト・ボタンをもう一度押すと、数秒以内にトレイはCOMBO内部にスライドして戻ります。

CDへの書き込み

ソフトウェア&マニュアルの記録





CDキットに含まれているリコーディング・ソフトウェアは、その使い易さにより最高の結果をもたらします。リコーディング・ソフトウェアをインストールする際に、ご使用のコンピュータに詳細なユーザマニュアルが自動的にインストールされます。詳しい操作方法は、ユーザマニュアルをご参照ください。

ディスク

従来の読み取り専用ディスク、あるいはリライト可能のCD - R/RWディスクをご使用ください。

CD - R/RWメディア (推奨品)

CD - R/RWの品質によっては、書き込みができない場合があります。下のリストの正常な動作が確認されたCD - R/RWメディアのご使用を推奨します。

CD-Rメディア:		4M, AMT, CMC, Csita, Cursor, Delphi, DST, E-TOP, ESPRIT, Ever Media, Fornet, Fujifilm, GAT, GigaStor, GQ, InfoDisc, KingPro, Kodak, LeadData, Maxell, Mitsubishi, Memorex, Mirage, Mitsumi, MoserBaer(India), MPO, NanYa, Plasmon, Postech, Princo, Prodisc, RAMedia, Ricoh, Ritek, SAST, SKC(Korea), SONY, Taroko, TDK, TY, Verbatim
Low Speed CD-RWメディア:		AMT, CdBoss, CMC, CompUSA, DataStone, Ever Media, Fornet, Gigadata, GigaStor, LeadData, Maxell, MBI, MCW, Mitsubishi, Philips, Pony, Power, Princo, Ricoh, Ritek, TetaSys, Verbatim, Winner
High Speed CD-RWメディア:		AMT, CMC, CompUSA, Cursor, Fornet, Imation, Infodisc, Maxell, Mitsubishi, NanYa, Plextor, Postech, Prodisc, Ricoh, Ritek, SKC(Korea), TDK
Ultra Speed CD-RWメディア:		CMC, DAXON, InfoDisc, Mitsubishi, NanYa, ProDisc, Ricoh, Ritek, SKC(Korea)

注意: このリストは予告無しに変更されることがあります

CDの再生

オーディオCDの演奏

オーディオCDを再生するためには、オーディオ・ケーブルをドライブ後部上のアナログ・オーディオ・コネクタと、もう一方の端子をサウンドボードと接続してください。

サウンドボード経由で音楽を再生する場合、Windows Media PlayerまたはCD Player Taskbarのボリューム・コントロールで音量を調整します。またサウンドボード上で音を消し、ヘッドホンやセルフ・パワー式のスピーカで音楽を聞くこともできます。

トラブルシューティング

CD-RWドライブのご使用に際し、インストールや通常の操作中にトラブルが発生した場合は、次の表をご参照ください。

読み取りに関するトラブル

症状	考えられる原因	解決方法
作動しない	電源が入っていない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しくコネクタに接続されているかどうか確認してください。
	USBアダプタケーブルが正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> USBアダプタケーブルとコネクタが破損していないか、曲がっていないかなどを確認してください。特にピンを点検してください。
CD-RWドライブが認識されない	電源が入っていない。	<ul style="list-style-type: none"> CD-RWドライブのLEDが点灯しているかどうか確認してください。点灯していない場合は、電源が入っていません。
	USBポートとCD-RWドライブの間のUSBアダプタケーブルが正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルの両方のコネクタがコンピュータのUSBポートとCD-RWドライブに正しく接続されているかどうか確認してください。
	USBアダプタケーブルがWindows OSによって認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> 当マニュアルのUSB2.0ユーザーのページをご覧ください。USBアダプタが正しくインストールされているかどうかを確認してください。
音楽CDを再生中、外部スピーカーからの音が出ない。	サウンドカードが正しく作動していない。	<ul style="list-style-type: none"> 音楽CDを再生中にCD-RWドライブのヘッドフォンジャックに接続してください。スピーカーから音が聞こえたら、ドライブは正しく作動していることを意味します。 CD-RWドライブがサウンドカードに正しく接続されているか確認してください。 (MCI) CDオーディオドライバがインストールされているかどうか確認してください。
CD-RWドライブのサウンドレベルが低い	Windowsオーディオミキサーのレベルが正しく設定されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 各オーディオミキサーのマスター、CD、ラインレベルが正しく設定されているかどうか確認してください。
読み取り中に異常な音がする	ディスクに異常がある。	<ul style="list-style-type: none"> 別のディスクと交換してください。
	ディスク表面にシールなどがついている。	<ul style="list-style-type: none"> CDを傷つけないよう気をつけながら、シールをはがしてください。

症状	考えられる原因	解決方法
<ul style="list-style-type: none"> • フォトCDディスクを見ることができない • マルチセッションディスクの最初のセッションしか読み取ることができない • フォトCD読み取り中にエラーメッセージが表示される 	不良フォトCDディスク。	<ul style="list-style-type: none"> • ほかのフォトCDディスクを入れ、正しく読み取れるかどうかを確認してください。ほかのディスクが正しく読み取れば、ディスクに欠陥があることが考えられます。
マルチセッションディスクの最初のセッションしか読み取ることができない	書き込みの際に、前セッションの“ディスクを閉じる”が選択されていなかった	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクに新しいセッションを追加する場合、前のセッションが閉じていないと、次のセッションが読み取り不可になります。ほかのCD-R/RWメディアに書き込みなおしてください。
フタを開けない(イジェクト)	ソフトウェアによりイジェクトがロックされています。	<ul style="list-style-type: none"> • ソフトウェアを終了し、イジェクトボタンを押してフタを開けてください。
	CDセットがトレイに正しくセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> • ドライブ下のレバーを前に引いて、ふたを開けてください。
<ul style="list-style-type: none"> • 2回以上書き込みがされたCD-RWディスクの最初のセッションを読み取ることができない • 読み取りエラーが発生する 	ソフトウェアの“コンテンツをロード”または“セッションをインポート”がクリックされていない。	<ul style="list-style-type: none"> • “コンテンツをロード”または“セッションをインポート”をチェックせずに録画したディスクは読み取ることができません。但し、Adaptecの“セッション選択”ソフトウェアユーティリティなどを使用している場合は、前のセッションを読み取ることができます。
	不良CD-ROMディスク。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスク表面に深い傷、指紋、その他の汚れなどがある場合は、データを読み取ることができない場合があります。ディスクはきれいに保ってください。
<ul style="list-style-type: none"> • 2回以上書き込みがされたCD-RWディスクの最初のセッションを読み取ることができない • 読み取りエラーが発生する 	音楽CDが挿入されている。	<ul style="list-style-type: none"> • オーディオCDにはコンピュータデータが含まれていないため、オーディオCDをセットしてコンピュータコマンドを入力すると、エラーメッセージが表示されます。
	ディスクが上下さかさまにセットされている。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクをトレイから取り出し、正しい方向にセットしてください。
ほかのCD-ROMドライブのパケット書き込みで書かれたCD-RWディスクを読み取ることができない	CD-RWディスクが“ランダム書き込み”で初期化されている。	<ul style="list-style-type: none"> • CD-ROMドライブは、“ランダム書き込み”で初期化されたCD-R/RWディスクを読み取ることができません。ディスクを読み取るには、CD-RWドライブを使用するか、AdaptecのウェブサイトからUDF Readerをダウンロードし、インストールしてください。“ランダム書き込み”ディスクが読み取り可能になります。

書き込みに関するトラブル

症状	考えられる原因	解決方法
書き込みができない	CD-RWドライブに対応していないソフトウェアを使用している。	• CD-RWドライブ付属の発行ソフトウェアをご利用ください。その他のソフトウェアをご使用になる場合は、ソフトウェアメーカーにお問い合わせになり、CD-RWドライブとの互換性をご確認ください。
	ディスクが上下さかさまにセットされている。	• ディスクをトレイから取り出し、ラベル側を上にしてセットしてください。

症状	考えられる原因	解決方法
	ハードディスク容量が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> 通常、書き込むデータの1.2～2倍のハードディスク容量が必要となります。但し、書き込み方式によって異なります。
	電源が入っていない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しくコネクタに接続されているかどうか確認してください。
	USBアダプタケーブルが正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> USBアダプタケーブルとコネクタが破損していないか、曲がっていないかなどを確認してください。特にピンを点検してください。
書き込みエラーが発生する（実行中のバッファ）	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを経由している。 書き込み中にマウスを動かしたり、スクリーンセーバーが起動した。 その他のアプリケーションが起動中。 	<ul style="list-style-type: none"> マウス、スクリーンセーバーを使用している場合や、ほかのアプリケーションが作動中の場合、ネットワーク経由で書き込みを行っている場合などは、CPUのリソース不足でエラーが発生する場合があります。 ネットワークからログオフして、もう一度書き込みを行ってください。 スクリーンセーバーや省電力モードを無効にしてください。 CD発行ソフトウェア以外のほかのアプリケーションをすべて終了してください。
	メモリ不足	<ul style="list-style-type: none"> PCのメモリ不足により、ハードディスク容量の交換が発生した可能性があります。交換が行われると、ハードディスクからのデータが中断され、実行中のバッファが発生します。 メインメモリを増設してください。
	“自動温度調整”が作動した。	<ul style="list-style-type: none"> BIOS設定で、“自動温度調整”を無効にしてください。 この機能を無効にできない場合は、ほかのハードディスクを使用してください。
	不良なCD-R/RWメディア	<ul style="list-style-type: none"> CD-R/RWメディアが汚れていたり、傷がついている可能性があります。ほかのCD-R/RWメディアに書き込みをおこなってください。
	ハードディスク容量が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> 通常、書き込むデータの1.2～2倍のハードディスク容量が必要となります。但し、書き込み方式によって異なります。
	ドライブが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> USBポートとCD-RWドライブの間のUSBアダプタケーブルが正しく接続されていない。 USBアダプタケーブルがWindows OSによって認識されない。
		<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルの両方のコネクタがコンピュータのUSBポートとCD-RWドライブに正しく接続されているかどうか確認してください。 当マニュアルのUSB2.0ユーザーのページをご覧ください。USBアダプタが正しくインストールされているかどうかを確認してください。

症状	考えられる原因	解決方法
	CD-RWドライブに対応していないソフトウェアを使用している。	<ul style="list-style-type: none"> CD-RWドライブ付属の発行ソフトウェアをご利用ください。その他のソフトウェアをご使用になる場合は、ソフトウェアメーカーにお問い合わせになり、CD-RWドライブとの互換性をご確認ください。
CD-RWに追加書き込みができない	ほかの発行ソフトウェアにより書き込まれている。	<ul style="list-style-type: none"> 前回と異なる発行ソフトウェアで書き込みを行おうとすると、エラーが発生する場合があります。常に同じ発行ソフトウェアをご使用ください。
	CD-R/RW 容量が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> CD-R/RWメディアの容量は、リードイン、リードアウト、TOCデータともに650MB（74分タイプ）に限られています。データが多すぎる場合は、別のCDへの焼き付けを行ってください。
高速度での書き込みができない	CD-R/RWメディアが高速度に対応していない。	<ul style="list-style-type: none"> 高速度対応ディスクを使用するか、低速度での書き込みを行ってください。
	実行中のバッファが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> “実行中のバッファ”の説明をご覧ください。
	不良なCD-R/RWメディア	<ul style="list-style-type: none"> CD-R/RWメディアが汚れていたり、傷がついている可能性があります。ほかのCD-R/RWメディアに書き込みなおしてください。
	CD-RWドライブに対応していないソフトウェアを使用している。	<ul style="list-style-type: none"> CD-RWドライブ付属の発行ソフトウェアをご利用ください。その他のソフトウェアをご使用になる場合は、ソフトウェアメーカーにお問い合わせになり、CD-RWドライブとの互換性をご確認ください。